

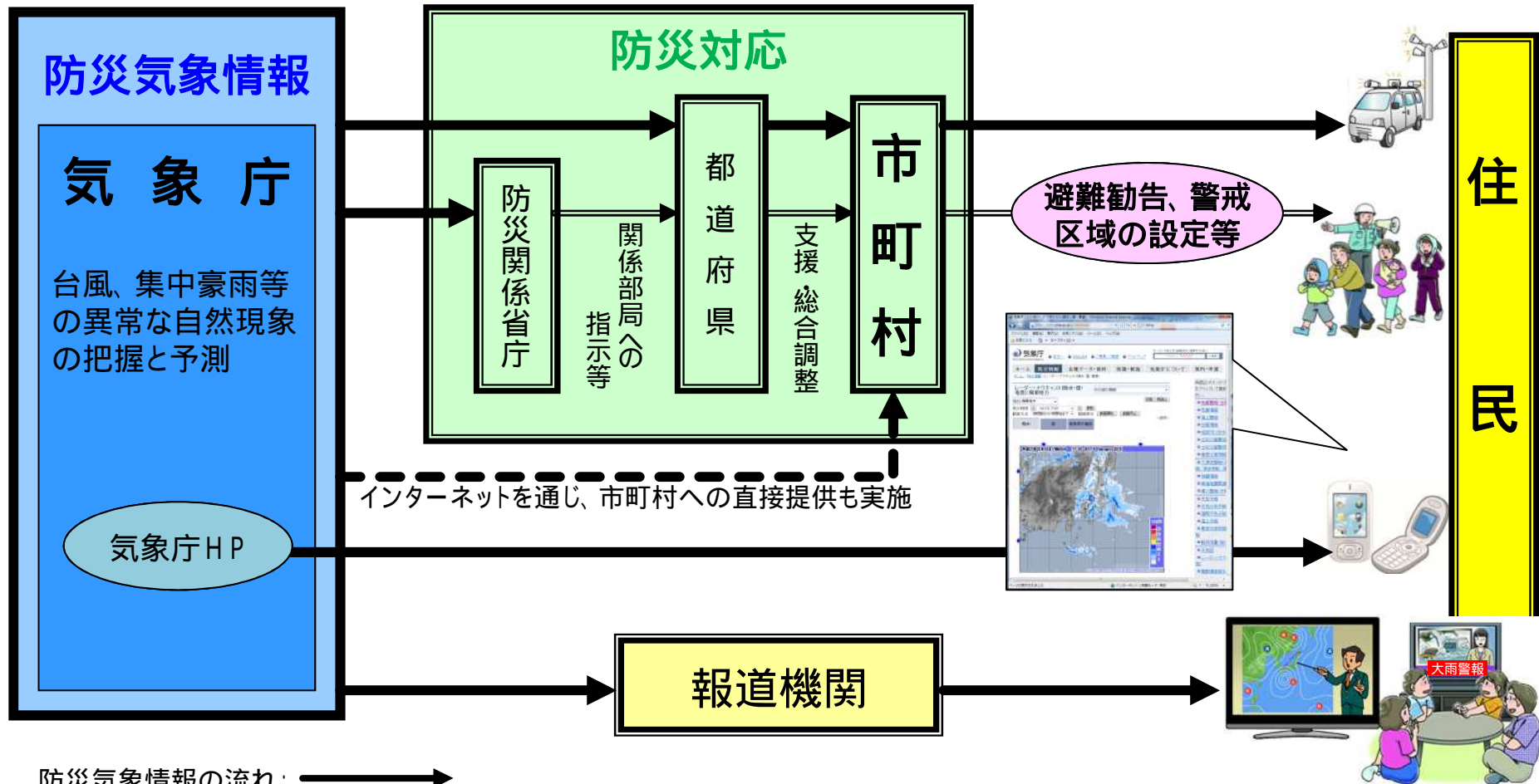
# 3 . 現状と課題

## . 防災気象情報の現状と課題

# 現状

# 防災気象情報の役割と伝達

防災気象情報は、**市町村長による避難勧告等の発令**や**住民自らによる避難行動**等の判断材料として用いられる。このため、気象庁から発表された防災気象情報は、自治体を含む防災関係機関に伝達されるほか、報道機関等を通じて住民に速やかに周知される。



防災気象情報の流れ: →

関係機関の対応: ⇨

防災気象情報は、上記に示す他、総務省消防庁の全国瞬時警報システム(J-ALERT)など様々な経路を通じて住民に伝達される。

(資料2)

# 市町村の防災対応や住民の避難行動に活用される防災気象情報(大雨の例)



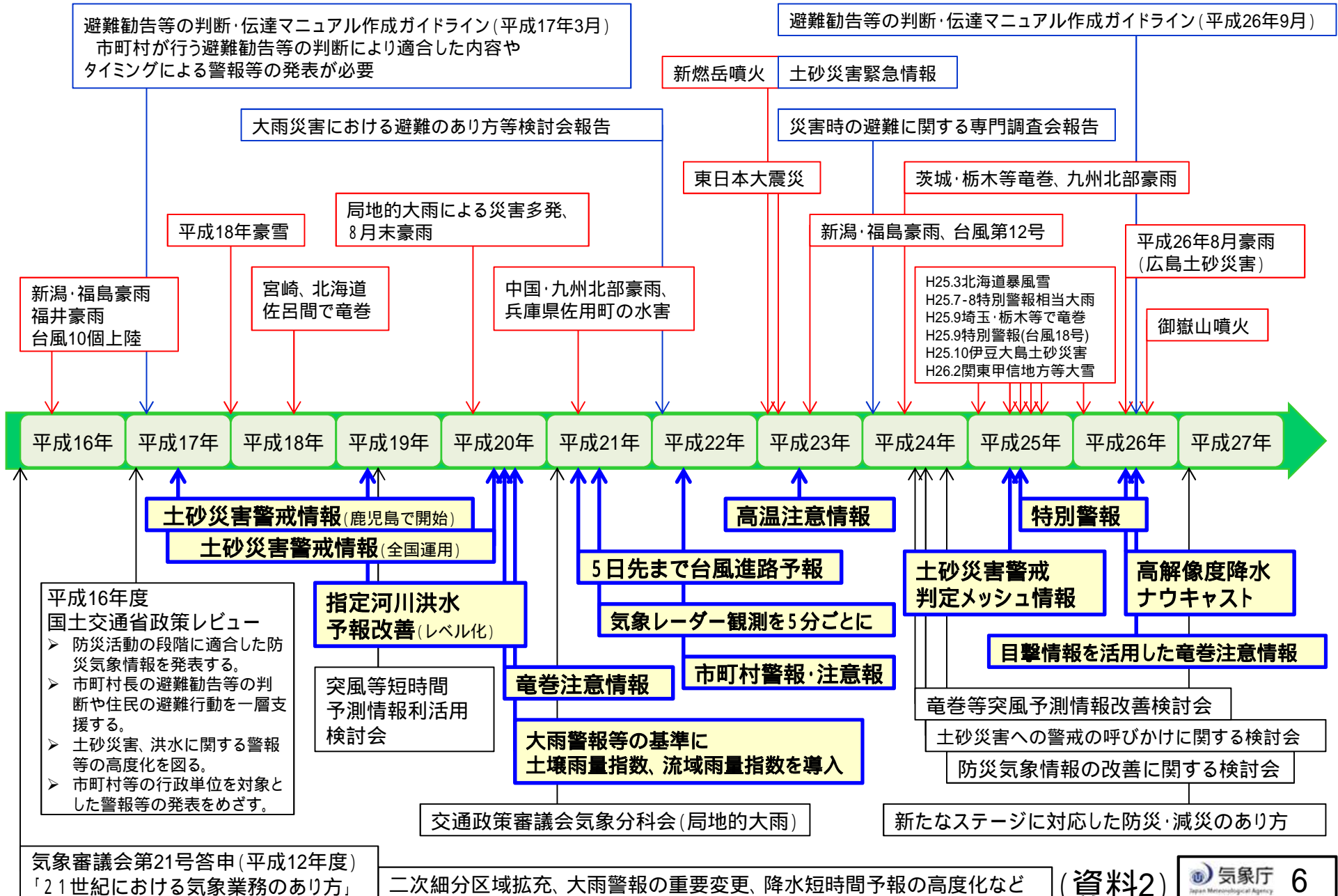
# 主な防災気象情報

情報の種類	情報の役割
気象 特別警報、警報、 注意報	特別警報：重大な災害の起こるおそれ著しく大きい旨を示して行う警報。 警報：重大な災害の起こるおそれがある旨を警告して行う予報。 注意報：災害の起こるおそれがある旨を注意して行う予報。
気象情報	台風その他の気象等についての情報を発表するもの。 警報等に先立つ警戒・注意の喚起や、警報等発表中に現象の経過等を解説する役割を持つ。
記録的短時間 大雨情報	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときに発表する情報。
土砂災害警戒 情報	大雨による土砂災害発生危険度が高まった時、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する情報。
台風情報	台風が発生した場合及び日本への影響が大きくなった場合において、台風の状況の周知と防災対策の必要性を喚起するために発表する情報。

上記の他に、以下のような情報もある。

- メッシュ形式の情報：土砂災害警戒判定メッシュ情報、解析雨量、降水短時間予報、高解像度降水ナウキャスト、雷ナウキャスト、竜巻発生確度ナウキャストなど、現象の強さや災害の危険度などをメッシュ形式で提供する情報。気象庁ホームページでは、分布図形式で閲覧可能。
- 指定河川洪水予報：河川の増水や氾濫などに対する水防活動のため、国土交通省または都道府県の機関と共同して、あらかじめ指定した河川について、区間を決めて水位または流量を示した予報。
- 竜巻注意情報：積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバースト等による激しい突風に対して注意を呼びかける情報。
- 高温注意情報：気温の予測情報と合わせ、熱中症への注意を呼びかける情報。
- 天候情報、異常天候早期警戒情報など、平年からの隔たりの大きな天候が見込まれる時に発表する情報。
- 飛行場警報、海上警報など航空機・船舶向けの情報。

# 近年の気象災害と防災気象情報の充実等の経過



# 課題

～現在の予測技術を踏まえ、どのような情報提供をすべきか～

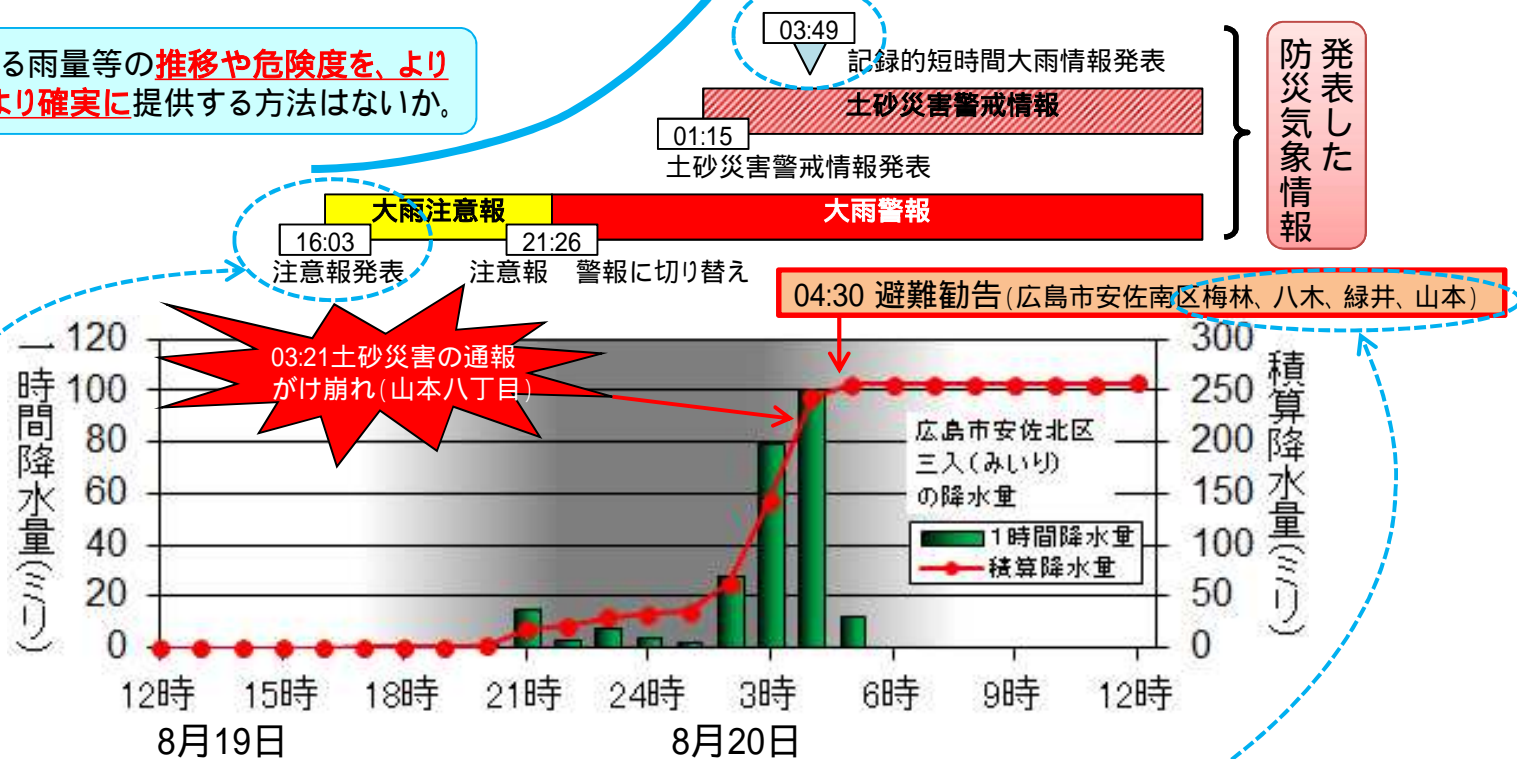
# 【課題】集中豪雨に対する防災気象情報(平成26年8月豪雨を例として)

危険の切迫度について住民が認識し易くなるよう、情報提供上の改善や工夫はないか。

## 8月19～20日の広島市の豪雨 防災気象情報の発表状況と課題

今後予想される雨量等の**推移や危険度を、より分かりやすく、より確実に**提供する方法はないか。

**実況を伝える情報を、より迅速に**発表できないか。



夜間～早朝の避難の可能性を考慮して、確度が低くても警報の可能性があるので、**早い段階から一段高い呼びかけ**のあり方は。

避難勧告対象範囲の判断を支援するため、**区域を細分したメッシュ情報の提供・利活用**を促進すべきではないか。

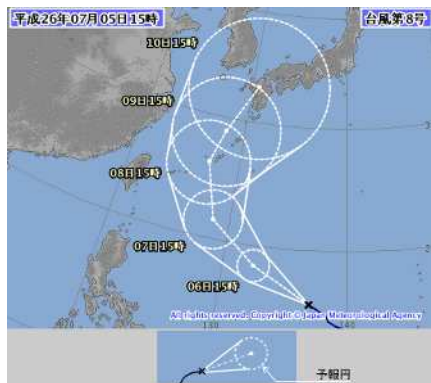
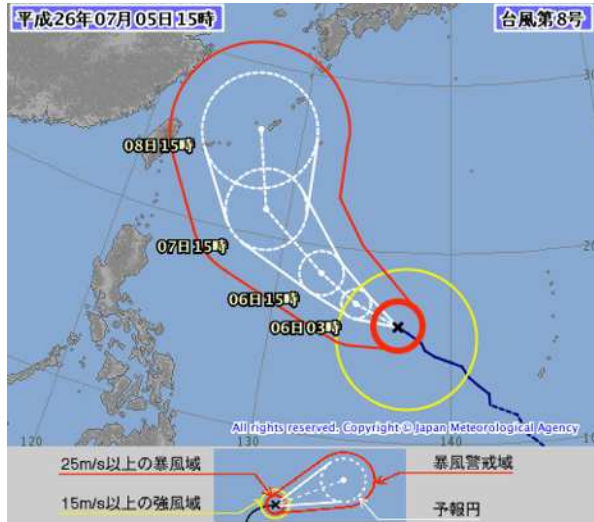
注) 図中の、土砂災害の通報及び避難勧告については、広島市の「平成26年8月20日の豪雨災害避難対策等に係る検証結果」(平成27年1月、8.20豪雨災害における避難対策等検証部会)より。



# 【課題】台風等に対する防災気象情報(大規模水害を例として)

いわゆるスーパー台風の襲来などにおいては、タイムラインによる数日前からの防災対応が想定されるが、それを支援するため、数日前の段階からどのような情報提供が効果的か。

## 台風予報(3日先までの予報)



進路については、5日先まで予報している。

## タイムラインのイメージ

	国土交通省	交通サービス	市町村	住民
台風発生 台風上陸 の可能性	台風上陸 3日前 ○台風予報 ○台風に関する記者会見	体制の 早期構築 ○連絡体制等の確認 ○協力機関の体制確認	運行停止の可能性を 早めに周知 ○広域避難体制の 確認・周知	広域避難の可能性を 早めに周知 ○防災用品の準備
災害発生 の危険性	台風上陸 1日前 ○台風に関する記者会見 (特別警報発表の可能性) ○大雨・洪水等警報 ○はん濫警戒情報	○リエソンの派遣 ○所管施設の巡視	○運行停止手順の 確認・公表 ○広域避難勧告・指示 ○広域避難者の誘導・ 受入	早期に 広域避難を開始 ○広域避難の開始
台風接近	台風上陸 12時間前 ○大雨・暴風・高潮等 特別警報 ○はん濫危険情報	○市町村長へ事態切迫 状況の伝達	○運行停止 ○施設保全・待避終了 ○避難勧告・指示	台風上陸前に 避難を完了 ○屋内安全確保
台風上陸	0時間前 ○はん濫発生情報	○OTEC-FORCE活動 (道路啓開等) ○被害状況の把握 ○緊急輸送路の確保	○被害状況の把握 ○施設点検 ○運行見通しの 公表	早期復旧・再開が可能 となるように運行停止 ○支援の要請

※水災害に関する防災・減災対策本部資料を簡略化 44

国土交通省「新たなステージに対応した防災・減災のあり方に関する懇談会。」  
(<http://www.mlit.go.jp/saigai/newstage.html>) 第2回資料3より抜粋・加筆